

あなたの 家族を守る 防災知識

女性気象予報士の会「日本気象予報士会サニーエンジェルス」の方を講師に迎え、女性対象の人材育成講座が開催されました。気象に関する講話や基礎知識、気象災害から家族を守る方法などを、クイズや実験などで楽しく学びました。

幼児から小学生対象の託児コーナーでは、子ども向けのクイズや実験があり、子どもたちも楽しく過ごすことができました。

その1

自己紹介



女性気象予報士の会「日本気象予報士会サニーエンジェルス」についての説明のほか、50歳で気象予報士の試験にチャレンジして55歳で合格した岡田さんの体験談などの自己紹介が行われました。

講師

石井 和子 (いしい かずこ) さん
[気象予報士・フリーアナウンサー]

岡田 登志恵 (おかだ としえ) さん
[気象予報士]

フレンズ (男性気象予報士)

棚良 幸広 (なぎら ゆきひろ) さん

水村 忠男 (みずむら ただお) さん

永田 健太郎 (ながた けんたろう) さん

その2

石井さんの講話



約45年前、お天気お姉さんは結婚か出産の時に辞めるというのが通例でした。しだいに働く女性が増え、今は多くの女性気象予報士が活躍しています。私が気象予報士になった理由は、長く仕事を続けるには資格が必要だろうと考えたからです。

その後、フリーアナウンサーとして仕事をしながら、気象と文学について学び始めました。たとえば紫式部の「源氏物語」は、気象に関する情報が驚くほど正確に記されています。私は「源氏物語」で学んだことをまとめて、源氏物語と気象に関する本を書きました。

女性へ伝えたいのは、「好きなことや興味あることを続けると、素晴らしい世界が開ける」ということです。ぜひ好きなことにチャレンジしてください。

その3

お天気クイズ・実験



雲の種類や空気の重さなど、天気に関する知識をクイズ形式で学びました。また、数人のグループに分かれ、ペットボトルを使って雲を作る実験や、気圧の上下によって身近な物体がどう変化するかの実験を行いました。さらに、うちわで風速計に向かってあおぎ、どれくらいの風速が出せるかを調べました。

その4

防災の話

いわき市の「河川洪水ハザードマップ」を使用して、雨による増水時の危険箇所について説明を受けました。ふだんから災害時のイメージを持ち、「避難が無駄であっても、それは訓練になる」と考えて、適切に避難するのが大切と学びました。

女性気象予報士の会
「日本気象予報士会サニーエンジェルス」



ママ向けお天気教室「さいえんすママカフェ」を開催するため集まった(一社)日本気象予報士会所属の精鋭気象予報士チーム。合言葉は…「空を見上げるお母さんを増やそう!」お天気の仕組みを知って、もっと日々の生活に生かしてもらいたい…そのお手伝いができれば…との思いで活動している。また、フレンズと称した男性会員が応援団として、色々な面でアシストしている。